

情報教育、英語指導助手による語学学習など生徒個々の実態に応じた多様な指導を展開しております。

平成23年度からは新たに学習支援員を配置し、平日の放課後や長期休業中を利用した補習、部活動との両立に配慮した早朝講習や土曜日講習等を行い、基礎・基本の定着から確かな学力の向上に取り組みでまいります。また、学習指導で特別な教育的支援が必要な生徒のため、引き続き特別支援員も配置してまいります。

本校の特色ある取り組みへの助成としましては、各種検定合格者の検定料、ホームヘルパー2級・居宅介護従事者2級の受講料の補助や通学費の助成を引き続き行っております。

国際理解教育として進めております国際交流派遣事業は、意欲ある生徒が海外における体験交流を通して語学力の向上、国際感覚を養い精神的にも成長させるとともに、報告会を実施することにより周囲の生徒にも良い影響を与えていることから、本年度も継続



千里大学授業の様子

修科に改め、それぞれの課程の中で、自己を豊かにし、生きがいや楽しみを求めて意欲的に学習活動を展開しておりますので、引き続き学習内容の充実に配慮してまいりますとともに、高齢者の持つ豊かな生活体験や人生経験を活かす機会の場を提供するよう努めてまいります。

また、平成2年に開校して以来20年が経過し、本年度は大学院の卒業年であり、修学

して実施いたします。

平成23年度の入学志願者は、多くの応募をいただいたところでありますが、今後も進行が予想される過疎化に伴い学齢人口の減少のほか、学校選択の多様化など本校への入学志願者の減少傾向は今後さらに厳しくなることが予想されることから、昨年設置いたしました高校運営の検討組織「プロジェクト検討会議」の意見を踏まえ、中学生やその保護者に対する説明会や進路相談会を開催し、南富良野高等学校の特色ある教育活動への理解を深めていただくよう努力してまいります。

社会教育

社会教育の推進

次に、社会教育の推進であります。

第5次社会教育中期計画を基本としまして、本町の豊かな自然や歴史・文化などを活用して、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、子どもから

大人まで、時間的、空間的、精神的ゆとりの中で、いつでも、どこでも、だれもが自由に学ぶことができる環境づくりに配慮してまいります。

家庭教育の充実

家庭教育についてではありますが、核家族化や少子化の進行、共働き家庭が増加する中、家庭における教育力が低下していると言われており、社会教育の領域においても家庭教育は大きな課題となっておりますことから、家庭教育力の向上を図るため、引き続き家



家庭教育支援事業

ニーズに合った図書の充実に努めるとともに、富良野沿線5市町村で行なっております視聴覚ライブラリーによるビデオ・DVDの貸出や広域連携の取組みによる、圏域市町村住民にも蔵書の貸し出を行ってまいります。

公民館分館事業

公民館につきましては、下金山地区多目的センターの大ホールについて、行事等において手狭であるとのことであり、用具室を撤去し拡張することいたしました。公民館分館事業は、それぞれの地域の特性を活かした活動を進めてまいります。

住民の自主的活動を支援

住民自主企画活動支援事業につきましては、住民が必要とする多様な学習形態に対応した事業であり、これまで「体験ワークショップを交えたコンサート」や「ウォーキング講習会」の開催など多様な分野において事業が開催され、日常生活の課題解決や健

庭教育支援講座の開催、子育てのための学習機会や情報交換の場を提供してまいります。また、家庭において幼児期の親子のふれあいと絆を深めていただくためのブックスタート事業は、本年度も引き続き実施し、さらなる親子のふれあいと絆を深め喜びを感じる機会の充実のため絵本の読み聞かせなどを併せて実施してまいります。

青少年の健全育成

青少年の健全育成であります。が、依然として非行や犯罪など青少年をめぐる問題が深刻になっており、このような社会的問題は、親や大人の言動や姿勢、社会のあり方が大きく反映していると言われておりますので、学校、家庭、地域が相互に連携した、自然や人々とのふれあいなど活動機会の提供に努めてまいります。

本部町との親善交流事業

友好の町「沖縄県本部町」との親善交流事業につきまし

康増進、コミュニティ活動の推進などに成果がありますので、平成23年度においても生涯学習の一環として、引き続き住民の自主的活動を支援してまいります。

郷土資料の一般開放

町内の歴史の跡である史跡については、平成20年度に史跡マップを作成したところでありありますが、本年度より年次的に標柱を設置するとともに、史跡見学会を行い郷土学習の推進を図ってまいります。

体育・スポーツの振興

次に、体育、スポーツの振興についてであります。町民だれもが心身ともに健康で明るく充実した生活を維持していくために、各自の体力や能力にあったスポーツを楽しむ、生活の中に積極的に取り入れて行くことが大切であると考えますので、体育指導員協議会、総合型地域スポーツクラブ「ゆっく」や体育関係団体などの連携と協力をいただきながら、引き続き各種ス

では、21回目を数えており、多くの子ども達による交流が行われてきております。北と南の子ども達の友情の輪の拡大と風土、歴史、文化の違いを自ら体験し学ぶことは極めて貴重であり、この事業を通じて両町のホームステイによる家族間相互交流も芽生え、また継続されるなど交流の輪が広がっていることから、今後もさらに、両町の絆が深まるものと考えまして引き続き実施してまいります。

成人教育

成人教育についてであります。が、成人期は、家庭、職場、地域社会において中心的な役割を担っている世代であり、働く女性の増加に伴い、女性の社会参加も拡大されてきておりますので、幅広い学習活動の提供に努めるほか、各種団体の育成と自主的な活動に引き続き支援してまいります。

千里大学

千里大学につきましては、昨年度より本科、大学院、専



ゆっく主催第1回ウォーキング教室

ポーツ教室やスポーツ大会を開催するとともに、町民の健康増進や体力づくりのための学校開放にも配慮し、各種スポーツの振興に努めてまいります。

以上、平成23年度の教育行政の執行に対する方針を申し上げます。教育委員会として、課せられた使命や責任を深く認識して、町民皆様の負託に応えるため、町をはじめ教育関係者と連携して最善の努力をしてまいりますので、議員各位、並びに町民皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

図書室の充実

保健福祉センターの図書室については、多くの方々に利用していただくため、利用者